

絶妙の真理

(一テサロニケ五・一五〜二二)

純福音東京教会の神学校、フルゴス
ペル神学大学・大学院で教えるように
なってもう一三年くらいになるのだ
が教えられるところが実に多い。特に
その「積極的・肯定的・明るく・前向
き」な信仰姿勢には脱帽だ。日本最大
級の会衆、千人以上の人々、しかも多
言語で礼拝をささげるコミュニティ
である。問題がないはずがない。それ
でも彼らはこの「絶対肯定」の信仰を
手放そうとはしない。明るい言葉で励
ましあい、人生を切り開こうとする姿
は本当に美しい。

とはいえ人生と言うのは山あり谷
あり。単調な攻めばかりでは具合がわ
るい。懐メロではないが「押しでもダ
メなら引いてみな」といった具合に緩
急をつけていくこともまた大切であ
る。使徒パウロは恐らくそこがよく解
っていたのだろう。この個所では積極
的命令(〜せよ)と、禁止命令(〜す
るな)を交差させるようにして神のみ
こころを解いている。それはまさに微
妙、もとい「絶妙」である。以下三つ
のことを学びたい。

一、「喜び」と「御霊」

「喜ぶこと」これはキリスト者の生活に
おいて必須の要素であり、テサロニケのク
リスチャンたちはその最初からそれを体
験していた(一・六)。だからパウロが「い
つも喜びなさい」と勧めたのは単にへらへ
ラしておれと言っているのではないし、ムエ
タイの選手よろしく効いているのに効いて
いないふりをしてにやりとするのでもない。
むしろ聖霊の与えてくださる喜びに身を
任せていなさいということである。そうで
あればいつも喜んでいるためには内に聖霊
の火が常に燃えていなければならぬとい
うことになる。心に聖霊の火が燃えたち、
いのちがあふれ流れるとき、人はどんな困
難の中にあっても明るく輝くことが出来
るのである。喜びを絶やさない為には、御
霊を消してはならないのである。

二、「祈り」と「預言」

祈りとは神を呼ぶことであり、また神
と語り合うことであるが、この語り合う
関係を深めるためには、相手のことを
聞くという作業が実に大切である。一方
的にべらべらと話し、自分勝手な願だけ
をブチまくように祈っているだけで神の
語りかけに耳を貸さないなら、神との友情
が深まるはずもない。時にここで言う「預

言」ということはさしずめ説教のような
ものであり、語る者が御霊に感じて復活の
イエスについて語ることはであった。つまり
内容は神について、その啓示についてのこ
とばなのだ。これを軽んじるなら、どん
なに一生懸命に、絶えず祈ったとしても、
神との関係は深まらない。反対に神のこと
ば、説教をよく聞き、神に、キリストに、
聖霊について、また教会や信仰についてよ
く聞いたうえで祈るなら、その人の祈りは
豊かなものになり、絶えず祈る事も可能
になってくるのである。そしてそのような
神との深まった関係の中で主はますます
私たちにご自身の力と栄光を見させて下
さるのである。ハレルヤ!

三、「感謝」と「悪から離れること」

パウロはまた全てのことについて感謝せ
よといっているが、その裏に置かれているの
は「悪から遠ざかれ」という消極的な禁
止命令である。これは実に面白い。とい
うのも私たちはともすれば「全てのことにつ
いて感謝する」あまり、事の善悪をもない
交ぜにしかねないからである。しかしそれ
はいけない。確かに自分の周りに起こった
すべての出来事は神の許容の中で起こった
ことであるから、悲しいことも苦しいこと
もみな神への感謝に変えていくことが必要
である。しかし同時に醒めた目でその一つ

一つの事象の善悪を吟味することは赦さ
れているどころか推奨されている。そうし
て正しく善悪を吟味するならば、私たち
は悪を悪として認知できるので、それに染
まらずに済む。反対にもし私たちが短絡
的な感謝だけをして事の善悪について目
を閉ざしていくならその結果は暗い。私に
起こった不条理を人に味わわせようと
いうある種のルサンチマン(憤り・怨恨)に
身を焦がしてしまいかねないのだ。神によ
つて真の善悪を知り、それに生きることが
神の子どもとして大切な務めである。

* * *

最後に一連の積極的命令と消極的禁
止をつないでいる言葉に注目したい。そ
れは「キリスト・イエスにある神のご意
志(直訳)」だ。つまり神のみこころは
救い主イエスの中に見ることが出来る
と考えることが出来る。確かにイエスは
聖霊の力に満たされた喜びの生涯を送
り、祈り手であると同時に預言者であり、
絶えざる感謝に生きつつも、世の不正を
正すことをいとわなかったお方である。
つまり私たちの主イエス・キリストは救
い主であると同時に、私たち救われし者
の最上の模範である。このイエスの姿を
「高き則として」世の戦いに雄々しく出
ていき、勝利の人生を歩みたい。